

〔長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。〕

公共施設の将来のあり方を考える市民対話《琴海地区》

❀ 第1回 開催報告 ❀

ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 令和元年8月17日(土) 15:00~17:00

場所 琴海文化センター

参加者 地域の皆さん 24人



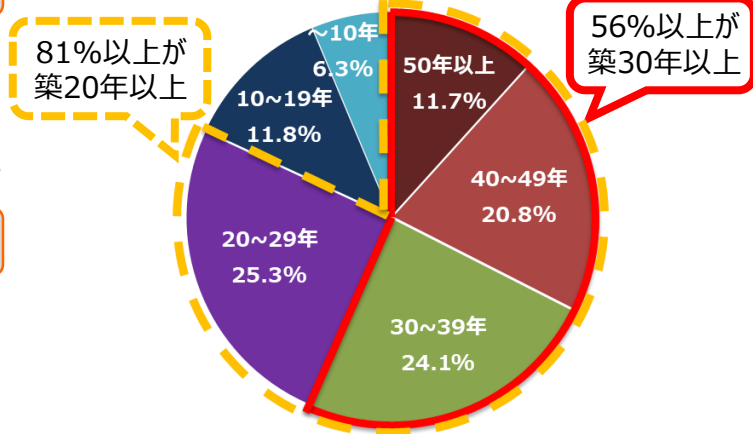
人口減少や少子高齢化が進む中であっても、暮らしやすいまちであり続けるために、琴海地区にある公共施設はこれからどうあったら良いのか・・・将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

1 いま起きている“変化”と状況

公共施設が古くなってきています

- ・市の公共施設（建物）の半分以上が建築後30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・今後、修理や建替えの時期を一齐に迎えます。

＜施設の築年数と施設の量（床面積）の割合＞



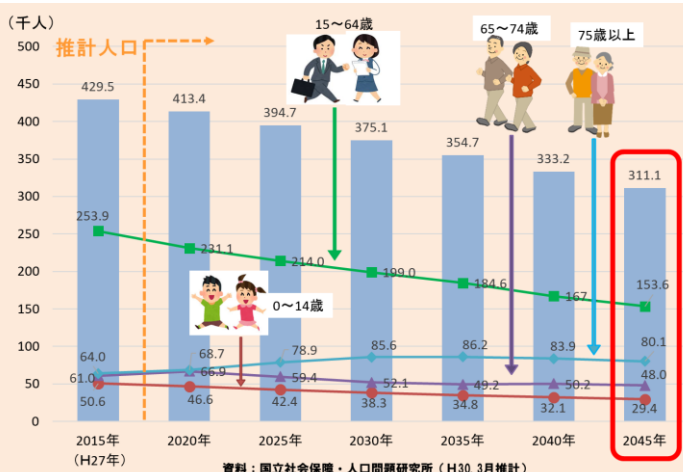
人口減少・少子高齢化が進んでいます

- ・長崎市の人口は、2045年には約31万人にまで減少すると予測され、それに伴い施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- ・「働く世代」の人口が大きく減少して**税収が減少することが予想**されます。
- ・今後も高齢化が進み、**福祉や医療にあてる費用が増えることが予想**されます。
- ・このため、**公共施設の修理や建替えにあてる費用は限られてしまいます。**

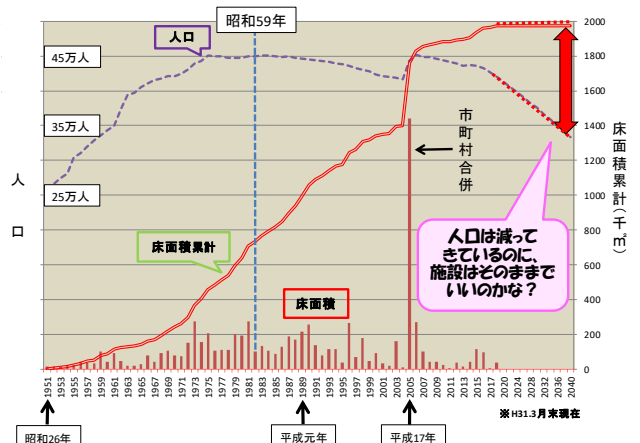
人口は減少しているのに、施設は多いまま

- ・長崎市の人口（紫の線）は、昭和59年をピークに減少していますが、**施設の量**（床面積、赤の線）は増え続けてきました。
- ・**今ある施設を全て持ち続けると、子や孫の世代に大きな負担を残してしまいます。**

＜人口の将来予想＞



＜施設の床面積と人口の移り変わり＞

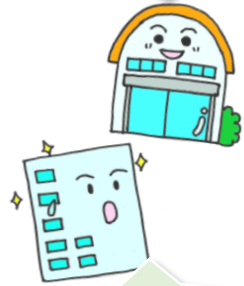


2 時代の変化に対応できる公共施設の見直し

先ほどの内容を整理すると・・・

施設はそのまま維持できるの？

長崎市の人口は、約30年後、約31万人にまで減少すると予測されているんだ。



人口減少

公共施設の
利用者の減少

なのに

公共施設の量は
そのまま

人は減っていくのに、施設の量はそのままだと使われない施設が増えてしまうね。

少子高齢化

医療・介護など福祉
にあてる予算の増大

なのに

古くなった公共施設の
修理に費用がかかる

働く世代の人口が大きく減っていき、税金(市の収入)が減っていくよ。



市の施設の半分以上が、築30年以上で老朽化しているよ。これからますます修理の費用がかかるよ。

どうしたらいいのだろう？

長崎市の公共施設の将来的な「**建て替え**」や「**改修**」にかかる費用平成27年度から**今後30年**間で、不足額は… **879億円**

このままでは
今の施設すべての建て替え・修理はできません



ところで…

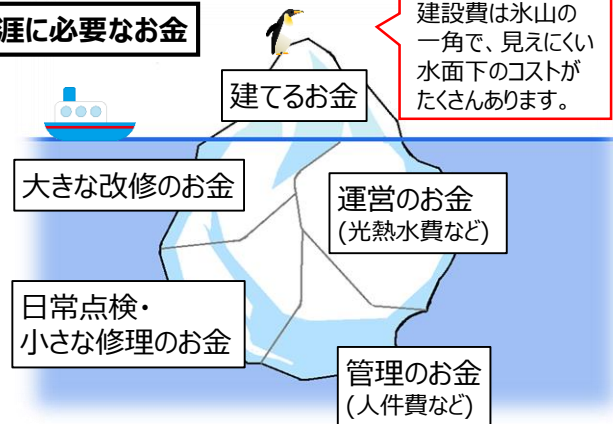
建物の生涯では、どんなお金がかかるかご存知ですか？

建物にかかるお金は、初めに建物を建てるお金だけではありません。建てた後も、建物の管理・運営のための光熱水費や人件費、安全のための日常点検・小さな修理のお金が必要になります。

また、建物の老朽化に伴い、定期的に大きな改修のお金もかかります。一般的に、建物を建てるお金の4～5倍のお金が、建てた後にかかるといわれています。

建物のあり方を考えるときには、**建物の生涯にかかるお金全体を考える必要があります。**

建物の生涯に必要なお金



グループでの話し合い

「区内にある施設の課題や問題点等」について考えよう

- 琴海地区の将来を考えるうえで、区内にある施設の課題や問題点等は何ですか。
 - その理由は何ですか。
- 思い浮かんだ施設を、書き出してもらい、それぞれの施設について、班で話し合いました。

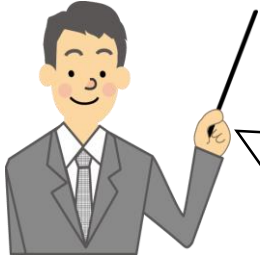


3 公共施設の上手な見直し方

また、どのように公共施設を見直していくかについても、お話ししました。

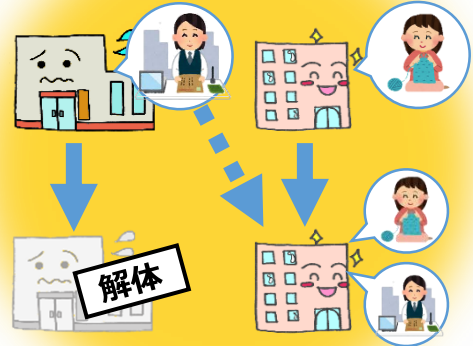
まず大切なことは…

**施設を見直すことは、
行政サービスを無くすことではありません。**



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を見直すということです。仮に施設が減っても、そこで行われていた生活に必要なサービスを無くすことではありません。

<工夫した使い方の例>

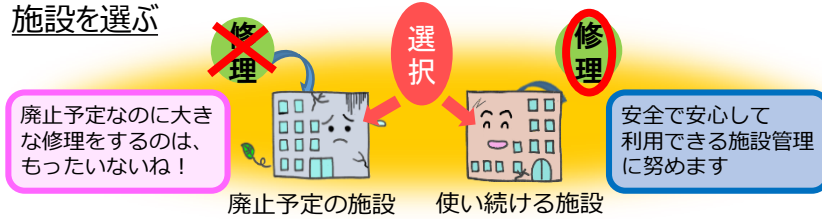


建物は減っても… サービスは残る

見直しの手法

見直しには、大きく2つの手法があります。

手法1 施設を選ぶ



使い続ける施設と将来廃止予定の施設を分けて、使い続ける期間に合わせた適切な修理をします。

手法2 施設をまとめる



建物が減っても工夫することで活動は続けられ、新たな交流も生まれます。

公共施設を見直す時の視点

公共施設の使い方を見直す時には、次の7つの視点で考えていきます。

建築年数や修理の状況



地震に強い建物か



よく利用されているか



使っていない部屋はないか



同じような使われかたをしている建物がないか



修理などにお金が掛かりすぎていないか



バリアフリーに対応しているか



★グループでの話し合いで出された主な意見

グループで話し合っていたいただいた内容について、班ごとに発表していただきました。

- ・1年に1回しか使わない施設でも、その地域には必要な施設がある。
- ・施設を廃止すると言っても、高齢化が進むと動くことが難しくなるので、公共交通機関を充実してもらわないと困る。

1班



- ・活性化センターと北部研修センターの厨房（調理室）は1か所にまとめていいのでは。
- ・小学校については、一部で合併をしたばかりだが、子どもの数はこれからも減っていくだろうから、いずれ複式学級の話が持ち上がるだろう。中学校も施設の老朽化が進んでいるので、小中一貫校という考え方があってもいいのでは。
- ・トイレが和式で使いづらい施設があるので、洋式にしてもらいたい。

2班



- ・公共施設を減らしていかなければならないのは、避けて通れないことだが、大型建設事業を進める一方で、地域にある施設を減らしなさいと言われても、わかりましたとは言えない。市民にわかりやすく説明する努力をしてもらいたい。
- ・施設を減らすのであれば、広い琴海地区では移動は車になるので、駐車スペースの確保を優先的に考えてもらいたい。

3班



- ・施設に係るコストについては、旧電力から新電力に切り替えることで、電気代を削減できる場合があるので、検討していくべきでは。
- ・施設の複合化については進めた方がいいと思うが、琴海地区は南北に広く、現在歩いて行ける施設が遠くなる場合があるので、コミュニティバス等の代替手段が必要になる。

4班



- ・避難できないような遠い場所にある避難所もある。
- ・使い方が分からない、知らない施設がある。情報開示がなされていないのでは。
- ・ハード面をまとめるには、移動手段の確保などのソフト面の工夫も必要では。

5班



【講評】（アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讀岐亮 先生）

- 今回の対話では、公共施設のあり方考える際には、施設（建物）のことだけでなく、他の要素も併せて考える必要があるということ、気づいて頂けたのではないかと思います。
- 色々な意見、異なる意見が出た中で、共通点については、その重要性を市に受け止めてもらいたいですし、別の角度で意見が出た所については、ぜひ市民の皆さんにも持ち帰ってもらい、なぜそうなったのか考えてもらいたいと思います。その上で、次回の議論につなげていってもらえるとありがたいです。



次回の対話では・・・

長崎市から **公共施設の基本的な配置の考え方** をお示ししたうえで、その考え方に対して、地域にお住まいだからこそわかる実情などを踏まえた、ご意見やアイデア等をお聞かせいただきたいと思います。

第2回 日時：令和元年9月28日（土）15：00～17：00
場所：琴海文化センター 多目的ホール

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室（☎直通：095-829-1412）